


地域発元気づくり支援金【南信州地域】 平成30年度優良事例


<知事表彰 1 団体>

◆天竜川和船造船技術の伝承事業【天竜川和船文化保存会（飯田市）】


事業内容	<p>後継者の育成が急務である天竜川和船の造船について、若い船頭や高校生と共同で行うことで次世代への伝承へ繋げるとともに、アメリカ人船大工を招聘して和船の共同制作やシンポジウム等を開催し、文化交流・情報発信へと繋げる。</p> <p><事業費 2,845,457円 支援金額 2,276,000円></p>	
選定のポイント	<p>地元産木材を活用した和船技術の伝承のため、船下りの船頭が技術を習得し、和船を新たに造船した。</p> <p>また、アメリカ人船大工を招へいし、共同で和船づくりを行うとともに、インバウンド観光の推進を目的としたシンポジウムなどを開催するなど、南信州地域の文化である「天竜川の舟下り」や和船が多くの方に再認識されるきっかけとなった。</p> <p>さらに、企業や地域の枠を超え「天竜川」を核とした観光振興を推進していく機運が高まった。</p>	

<地域振興局長表彰 6 団体>

◆ユニバーサルツーリズム推進に関わる受入環境整備事業【(株)阿智屋神観光局（阿智村）】

事業内容	<p>障害者が安心して旅行できる観光地を目指していくために、昼神温泉等の施設について計測・調査を行い、障壁箇所などをHPで開示する。また、観光関係者等を対象にセミナー開催や車いすの介助訓練を実施し、障害者・高齢者に気遣いできる地域を目指す。</p> <p><事業費 4,761,725円 支援金額 3,768,000円></p>	
選定のポイント	<p>誰もが阿智村の観光を楽しめるよう、現在の障壁などに関する調査を実施し、バリアインフォメーションとしてHPに公開したほか、車いす等の整備を行った。</p> <p>また、地域一体となったユニバーサルツーリズム推進のためのシンポジウムを開催するなど、健常者だけでなく、高齢者や歩行弱者、あるいは障害を持った方でも阿智村に観光に行ける、という選択肢を本事業により提示することができた。</p> <p>多様な観光客の受け入れ実績の増加により、観光地としてのさらなる魅力化が期待される。</p>	

◆よこね田んぼ観光地化事業（よこね田んぼ保全委員会発足20周年記念事業）【よこね田んぼ保全委員会（飯田市）】

事業内容	<p>飯田市千代「よこね田んぼ」の観光地としての魅力を高めるため、棚田から見晴台（展望台）に向けて遊歩道を整備や、伐採した雑木の活用、ウォーキングマップの作成、さらには案内ガイドの養成などに取り組む。</p> <p><事業費 2,473,200円 支援金額 1,648,000円></p>	
選定のポイント	<p>展望台への遊歩道を整備し、観光客がビューポイントに容易にアクセスできる環境を整備したほか、遊歩道開設に合わせてマップを作成、ウォーキングイベントを実施し140名が参加した。</p> <p>ビュースポット整備によりよこね田んぼを基点とした観光客の増加が期待できるほか、よこね田んぼを中心とした地域活性化を目的とするNPO法人が新設されたことと連動し、観光収益による保全活動の活性化も期待される。</p>	

◆高校生と地元企業とを「つなぐ」事業【飯田市】

事業内容	<p>人材回帰、Uターン就職に向けた地域全体の機運を高めるための事業に取り組む。メンター（指導者）と企業が高校生との交流プログラムをつくり、企業と高校生の交流を促す。人材不足という地域全体の課題を解決するため、地元企業と共に地域人材を育成する体制づくりを行う。 <事業費 2,160,000円 支援金額 1,728,000円></p>
選定のポイント	<p>高校生と地元企業が早期に接点を持ち、地元就職を意識してもらうための交流事業を実施し、受入れ企業16社、高校生のべ580人程度の参加があった。 学校主体の企業見学会以外でほとんど接点のなかった地元企業と交流できる取組となった。 受入れ企業は徐々に増加しており、今後の活動のさらなる広がりが期待できる。</p>



【旭松カフェに集まる高校生たち】

◆南信州移住促進事業【南信州広域連合】

事業内容	<p>南信州の市町村や県と連携して、三大都市圏で移住セミナーを開催する。地域の先輩移住者、各市町村、転職支援会社、JA、農業改良普及センター、長野県看護協会等のスタッフが移住希望者の仕事や暮らしの相談に応じる。また、移住者のインタビュー映像をまとめ、関係機関のホームページに掲載する。 <事業費 5,632,497円 支援金額 4,435,000円></p>
選定のポイント	<p>広域連合、県、14市町村が連携し、都市圏において合同の移住セミナーを6回開催し、136組183名が参加した。 移住セミナー参加者のうち実際に移住者が出ているなど効果が上がっており、14市町村が圏域全体で連携して事業を実施することで、市町村間の連携やノウハウ共有が図られているなど、移住希望者に対し多様な選択肢を提供することが期待できる。</p>



【移住相談会の実施風景】


◆科学実験教室「超低温の不思議な世界&リニア」【南信州飯田おもしろ科学工房（飯田市）】

事業内容	<p>リニアの原理である超電導への理解を深め、ものづくりや科学への興味・探求心を高めてもらうため、超電導の実験用具を購入し、地域住民のボランティアと連携して学校や公民館で実験教室を開催する。 <事業費 528,984円 支援金額 396,000円></p>
選定のポイント	<p>超伝導体を使った科学実験教室を実施し、のべ10回1000人以上の子どもたちに科学の面白さやリニア中央新幹線について学ぶ機会を創出したほか、下伊那教育会において教師向けの実験教室も行った。 8年後に開通が予定されているリニア中央新幹線の原理や仕組みについて、実験教室を通じて多くの子どもや保護者に伝えることができた。また理科の教員向けにも実験教室を実施するなど、リニアを軸とした理科実験教育のさらなる広がりが期待できる。</p>



【実験教室で興味津々の子どもたち】


◆新規狩猟者確保事業【飯伊連合猟友会（飯田市）】

事業内容	女性狩猟者を確保するため、女性が猟友会に加入したくなるような新規狩猟者確保イベントを、猟友会若手会員が中心となり実施する。イベント後も各種講座等で資格取得のサポートを行うほか、飯田国際射撃場に女性トイレを設置し、女性会員にとって参加しやすい環境を整える。 ＜事業費 2,239,170円 支援金額 1,492,000円＞	
選定のポイント	女性新規狩猟者の確保のため、主に女性向けとして、狩猟の魅力を感じてもらうための講座を開催し、42名が参加した。また、講習等を実施する国際射撃場にこれまで設置されていなかった女性トイレを新設し、女性狩猟者増加に向けた環境整備を実施した。狩猟講座をメディアで広く募集したことにより、これまで狩猟に関心がなかった方や射撃場の存在を知らなかった方の参加もあり、講座受講者のみならず、地域に広く猟友会の活動を知ってもらえるきっかけとなった。	

【わな設置体験講座の様子】

<地域振興局特別賞 1団体>

◆子どもから高齢者における咀嚼啓発活動の展開「かみかみりレー」の実施【飯田女子短期大学（飯田市）】

事業内容	咀嚼回数の計測装置「かみかみセンサー」を活用した咀嚼啓発活動について、計測装置の貸し出しを積極的に行うとともに、学校や市町村保健課等との連携を図り、さらに啓発ポスターを活用することで啓発活動を一層拡大させる。 ＜事業費 406,390円 支援金額 325,000円＞	
選定のポイント	子どもや高齢者に咀嚼指導を行うかみかみりレーを、長野市から南信州までリレー方式で行った。また咀嚼啓発キャラクター「かみかみ大使カミン」が、イベントやテレビに複数回出演し、咀嚼啓発を行った。のべ1,800人以上に咀嚼啓発を行ったほか、咀嚼啓発キャラクター「かみかみ大使カミン」がイベントやテレビ複数回出演し、多くの人の関心を集めた。飯田女子短期大学の持つ知見を地域全体に浸透させる取り組みも行うなど、幅広く活動している。	

【竜峡中学校かみかみりレーとのぼり旗】